



東川クロスカントリースキー少年団の今季旭岳練習始め(昨年12月6日、旭岳クロスカントリースキーコース)

今、生き生きと 東川町スポーツ国際交流員 トリグヴァ・マルクセットさん

東川の子どもたちに本場仕込みのノルディック・クロスカントリースキーをーと奮闘中。夏のフィールドトレーニングとスキーの周回練習コースになっている羽衣公園では、学校帰りの放課後週3回練習指導し、各地の大会に出場するようになってきた子どもたちのために会場に行つて応援も欠かしません。片言の日本語ながら、すっかり子どもたちとも仲良し。「楽しみながら進歩しているので、見ている自分もとても楽しい」と充実の毎日のよう。

生たちを指導、皿洗いも経験したそうです。「アイ・ラブ・シラカバソウね。ヤスコサン(おかみの神林泰子さん)は日本のお母さん最高!」。そして大好きになったのが納豆、みそ汁、豆腐、緑茶。「アイ・ラブ・ナットウ! たまごかけご飯もうまいです」。

トリグヴァ・マルクセットさん

ノルウェー王国オスロ市出身、25歳。昨年8月から東川町スポーツ国際交流員(ノルディックスキー指導者)。アメリカ・デンバー大学修士卒業(経営管理学)。将来はスポーツ衣料などスポーツビジネスを手掛けたいそうです。USナショナルズ(ノルディック・クロスカントリースキー)7位、9位、カナダナショナルズ(同)9位(ともに2013-2014年シーズン)、ノルウェー・ジュニアチャンピオン(2008-2009年シーズン)。



た。

「東川はトレーニングにパフォーマンスな場所。ローラースキーの練習場所もいっぱいある。秋にはラントレーニングコースもできるし、旭岳にはたくさんさんのナショナルチームがトレーニングに来るスキーコースもある。ここがノルウェーだったら、選手たちはここに住みついてしまふだろうね(こんなに良い環境なんだから...)」と環境の良さに折り紙を付けまし

「ノルウェーでクロスカントリースキーがとてもポピュラーなのは、市街地近くのいたる所にコースがあつて、自然を見ながら走ることができるから。東川にも市街地近くにコースがあればいい。日本やアメリカは狭い所をぐるぐる回るコースばかりでおもしろくないね。だから僕は山スキーをするんだ」。

黒岳、十勝岳、富良野岳、ピンネモシリ、ニセコモイワなどに山スキーにも出掛けています。

「旭岳ー黒岳ー中岳温泉」コースを9-10時間かけて回ったことがある」というトレイルランナーでもあります。

「登山コースで歩いている人たちが僕が走つて後から追い越したら、クマに追われてきたんだ、と勘違いしてみんなびくりしてしまった。ごめんネ、

ごめんネ...」と茶目つ氣たつぷり片目をつぶりました。

◇

東川スキー少年団の指導は、町教委生涯学習指導員の竹田良和さんと二人三脚。「わずか1年でよくここまでになったよ。竹田さんのおかげですネ」。

昨年1月に発足した少年団の団員は現在23人。活動2シーズン目に入っています。コースを周回することもできなかった子たちでしたが、今では道北各地のクロスカントリースキー大会に出場するまでになりました。

昨年11-12月、旭岳温泉の白樺荘に宿泊し、クロスカントリースキーコースで合宿練習している学



JRスキー部選手と一緒にキトウシ森林公園内をトレーニングセッション(昨年9月23日)

少年団の子どもたちを指導するマルクセットさん(中央右)と竹田さん(羽衣公園の特設練習コースで)

